

市町村名	東村
------	----

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	特別支援教育支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-エ	
担当部課名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成27年度～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	教育上、特別な支援を必要とする児童並びに児童生徒に対し、円滑な学校生活を送れるように在籍する幼稚園並びに小中学校において特別支援教育支援員を配置し、適切な学習環境を保持する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	10,224	7,536	7,497	7,859	8,020
		(b) 予算現額	7,723	6,107	6,387	6,478	6,249
		(c) 増減額(b-a)	-2,501	-1,429	-1,110	-1,381	-1,771
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		7,723	6,107	6,387	6,478	6,249
	B. 執行済額		5,537	4,229	3,516	5,531	6,199
	うち交付金充当額		4,429	3,383	2,813	4,425	4,959
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		71.7%	69.2%	55.0%	85.4%	99.2%
予算の状況の説明		小学校1校へ3名、中学校1校へ1名の配置を予定通り配置する事が出来た。 支援員が対象の児童生徒に対応する時間を交付対象としており、対象児童生徒へ支援をしていない時間以外は交付対象としている。今年度は、会計年度職員の給与改正があり、執行率が上がる結果となっている。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	小学校1校へ3名、中学校1校へ1名の特別支援教育支援委員の配置する		目 標 (小学校2名配置 中学校3名配置)	(小学校2名配置 中学校2名配置)	(小学校3名配置 中学校1名配置)	(小学校3名配置 中学校1名配置)	
			実 績 小学校1名配置 中学校2名配置	小学校1名配置 中学校2名配置	小学校3名配置 中学校1名配置	小学校3名配置 中学校1名配置	
			目 標 ()	()	()	()	
			実 績				
達成状況説明	小学校へ3名・中学校へ1名、計4名(12ヶ月)の特別支援教育支援員配置を4月より配置できた。 特別支援教育支援員と教職員及びスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携を図り、児童生徒個々のニーズに応じた支援を行うことにより、適切な学習環境の保持ができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へアンケート調査を実施し、当該事業のあり方について検証する。		目 標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実 績	100%	100%	75%	/
	【参考指標】		目 標 ()	()	()	()	()
			実 績				/
	進捗状況説明	支援対象児童生徒の保護者(6名)に対しアンケートを実施、4名からの回答を得た。アンケートの結果、特別支援教育支援員の対応の満足度の割合が75%であり、目標である80%には達しなかった。事業の継続についての保護者からの必要度の割合は100%で、支援を受けることにより、児童にとって安心・安全な学習環境を提供することはできた。					

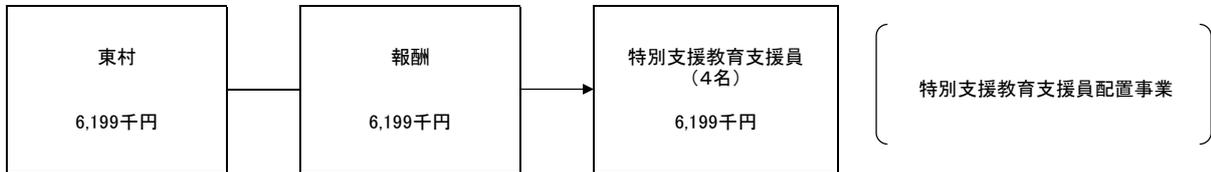
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>今年度も予定どおり 特別支援員を確保して学校へ配置する事が出来た一方で、支援内容が保護者へ十分伝わっていないことが満足度を達成することが出来なかった要因である。</p> <p>今後は、保護者からの声(アンケート)を支援員(学校)と共有することにより、より一層事業の推進に繋げる必要がある。</p>	<p>支援を要する幼児児童生徒一人ひとりに合った支援体制を維持していくため、今後もスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる巡回相談のあり方や巡回後の学級担任・特別支援教育コーディネーター等との面談・情報交換等を定期的に行う。</p> <p>特別支援教育支援員研修会を今後も継続し、資質向上を図るとともに、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーからのアドバイス・情報提供を活用する。</p>

今後の取り組み方針

スクールカウンセラーからの個別の支援アドバイス等を学校・特別支援教育支援員へ情報提供し、支援方法の共有を図る。
 教職員、特別支援教育支援員、指導主事等や保護者間で随時情報交換を行い、個々の状況を把握しながら支援の必要な幼児児童生徒に適切な支援を行うよう、体制強化に努める。
 アンケートの内容や事業の周知方法等を見直し、成果目標の検証に役立てる。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

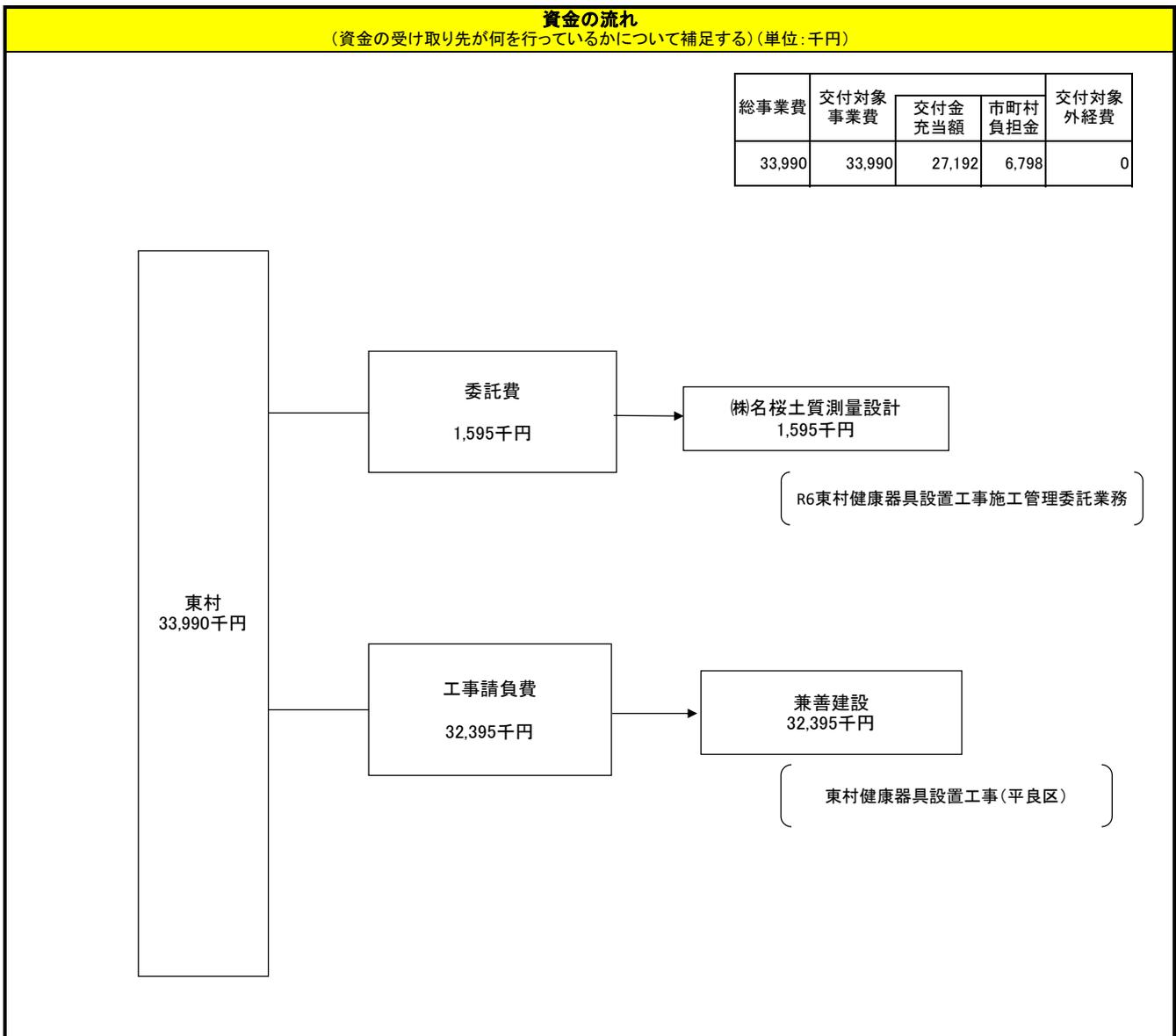
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
10,325	6,199	4,959	1,240	4,126



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法について、支援員は「東村会計年度任用職員の給与に関する規則」に該当し、応募者から提出された書類、面接に基づき任用しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な予算規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算規模は、村の予算編成資料(会計年度任用職員報酬月額表)により積算しており、適正な規模であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については支出等に関する書類で確認適正である。

市町村名		東村					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	東村健康づくり事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(3)-ア	
担当部署名	福祉保健課	事業実施(予定)年度	令和3年度～ 令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進		
事業内容	村民の健康増進を図るため、平良地区において健康器具の設置を行った。						
効果発現年度	■該当年度 ■後年度(10年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	5,080	65,508	84,587	34,165	
		(b)予算現額	5,204	60,060	60,553	33,990	
		(c)増減額(b-a)	124	-5,448	-24,034	-175	
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		5,204	60,060	60,553	33,990	
	B. 執行済額		5,204	60,060	59,543	33,990	
	うち交付金充当額		4,163	48,048	47,634	27,192	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	98.3%	100.0%	
予算の状況の説明		入札残により当初事業費より減となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	健康器具設置場所の調査検討	目標	(調査設計の実施)	()	()	()	
		実績	調査設計の完了				
	健康器具の設置	目標	()	(健康器具の設置)	(健康器具の設置)	(健康器具の設置)	
		実績		健康器具の設置完了	健康器具の設置完了	健康器具の設置完了	
達成状況説明	R6は平良地区に健康器具を設置した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R10年度)
	健康器具の設置工事の完了	目標	()	健康器具の 設置工事の 完了	健康器具の 設置工事の 完了	健康器具の 設置工事の 完了	()
		実績		健康器具の設置 工事の完了	健康器具の設置 工事の完了	健康器具の設置 工事の完了	
	【参考指標】 令和10年度以降成果目標 メタボリックシンドローム該当者の割合27.0%	目標	()	()	()	()	(27.0%)
		実績					
	進捗状況説明	平良地区に健康器具を設置した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	健康器具の利用促進を図るため、普及啓発を図る必要がある。	健康運動指導士等へ委託し各地区において健康器具の利用の啓発や健康器具の利用指導を継続して実施する必要がある。
今後の取り組み方針		
健康運動指導士等へ委託し各地区において健康器具の利用の啓発や利用指導を継続して実施するほか、村民へのアンケートにより改善箇所の把握などを行い、東村におけるメタボ率の減少に向けて取り組む。		



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者及び工事業者においては指名競争入札により決定している。 ○予算については価格調査の実施を行っており適正な規模である。 ○事業目的に沿い必要な経費を計上している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		東村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-①	環境保全・ネコの適正飼養推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(2)-(ア)		
担当部署名	建設環境課	事業実施(予定)年度	令和4年度～令和9年度		沖縄振興基本方針該当箇所	自然環境・生物多様性の保全・継承 III-10-1		
事業内容	地域住民の安全確保及び世界自然遺産登録された貴重な自然生態系の保全のため、R4年度に実施したネコの実態調査を基に、本村における飼いネコの適正飼養推進及び飼い主不明ネコ・地域ネコの保護及び譲渡強化を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,200	13,063	7,917			
		(b) 予算現額	1,200	13,063	7,917			
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	0	0	0			
	A. 計(b+d)		1,200	13,063	7,917	0	0	
	B. 執行済額		1,181	13,063	7,917			
	うち交付金充当額		945	10,450	6,333			
	次年度繰越額		0	0	0			
	執行率(%) (B/A)		98.4%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		執行率100%であり計画通り適切な執行ができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	村内における飼いネコ・飼い主不明ネコ・地域ネコの現況を調査し把握する。		目標 (実施)	()	()	()		
			実績	実施				
	・飼いネコ適正飼養の普及啓発 ・飼いネコ適正飼養の為の処置 ・飼い主不明ネコ及び地域ネコの適正管理及び譲渡強化 ・ネコ適正飼養推進検討会の運営		目標 ()	(実施)	(実施)	()		
		実績		実施	実施			
達成状況説明	活動目標は全て実施することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
	飼いネコの飼養状況 登録ネコ: 全件把握 未登録ネコ: 一部把握 飼い主不明ネコ・地域猫の生息地頭数把握		目標 ()	飼いネコ飼養状況把握 飼い主不明・地域ネコの生息地・頭数把握	()	()	()	()
			実績					
	ネコの捕獲頭数		目標 ()	()	(60頭)	(45頭)	()	
			実績		60頭	45頭		
進捗状況説明	成果目標のネコの捕獲数45頭を達成することができた。飼いネコの適正飼養が徐々に改善されてきている状況であるが、飼い主不明ネコがまだ多数おり、譲渡にも時間がかかっている状況である。							

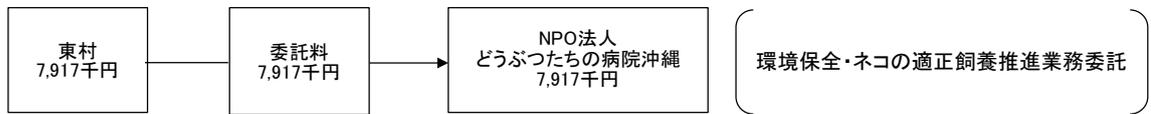
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	飼い主不明ネコ及び地域ネコの保護後、譲渡先を見つけることが課題である。譲渡に時間がかかり、保護時期の調整を行なっているが、別の方法も検討する必要がある。	飼い主不明ネコの早期発見・早期保護が必要なため、作業員の配置等を検討する必要がある。また、県内譲渡だけではかなり厳しいため、県内外譲渡に向けた取り組みが必要である。

今後の取り組み方針

飼いネコの適正飼養については、今後も根気よく適正飼養推進のための広報等も実施し、飼い主不明ネコ・地域ネコの保護及び譲渡に向けては、県外への譲渡を強化できるよう情報発信を強化する。また、作業員を配置し、飼い主不明ネコの早期発見・早期保護を実施することにより、ネコの増殖を防ぐ。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
7,917	7,917	6,333	1,584	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザルにて選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額はなく適正な予算規模であった。 ○費目・用途についても事業実施に必要な不可欠なものであり適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	東村コミュニティバスデマンド化実証実験事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ウ		
担当部署名	総務財政課	事業実施(予定)年度	令和5年度～6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	人と環境に優しいまちづくりの推進 Ⅲ-3-(3)		
事業内容	東村コミュニティバスの利便性向上を図り、移動しやすい街づくりを推進するため、デマンド化実証実験を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		4,011	2,763			
			2,485	2,763			
			-1,526	0	0	0	0
			0	0			
	B. 執行済額 うち交付金充当額		2,485	2,763	0	0	0
			2,437	2,760			
			1,949	2,208			
			0	0			
			98.1%	99.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	予算の状況の説明 概ね予算どおりの執行であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	デマンド管理システムの導入	目標	(システム一式)	(システム一式)	()	()	
		実績	システム一式	システム一式			
	デマンドバスの利用説明会	目標	(6回)	(6回)	()	()	
		実績	6回	6回			
	デマンドバス実証実験	目標	(6か月)	(12か月)	()	()	
実績		6か月	12か月				
達成状況説明	令和5年度から引き続き同じシステムを使用したため、切れ目なく乗車予約を受け付けることができた。デマンド運行についても4月1日から3月31日まで実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R6年度)
	東村コミュニティバス利用者へアンケートを実施し、利便性の向上を実感したものの割合	目標	()	()	(60%)	(70%)	(70%)
		実績			36%	71%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	令和7年1月にコミュニティバス利用者アンケートを実施した結果、利便性の向上を感じた回答は71%となり目標を達成した。						

市町村名	東村
------	----

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-①	避難経路整備事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(4)-(イ) 大規模災害等に備えた強くしなやかな県土づくりの推進
担当部署名	建設環境課	事業実施(予定)年度	令和5年度～6年度	沖縄振興基本方針該当箇所
III-10-(3)				

事業内容	地域住民及び観光客等の安心安全を確保するため、地震・津波災害時の避難経路を整備し、大規模災害等に備えた防災強化を図る。
------	---

効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和7年度)
--------	--

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()
------	---

		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額	9,800	77,845			
	(b) 予算現額	10,351	59,348			
	(c) 増減額(b-a)	551	-18,497	0	0	0
	(d) 繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)	10,351	59,348	0	0	0
	B. 執行済額	10,351	59,348			
	うち交付金充当額	8,280	47,478			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	予算の状況の説明	当初計画していた事業内容を実施し、順調に執行することができた。なお、予算の減額については、入札残が生じたことから工事費16,972千円、委託料1,525千円の減額変更申請を行い、100%の執行率となっている。				

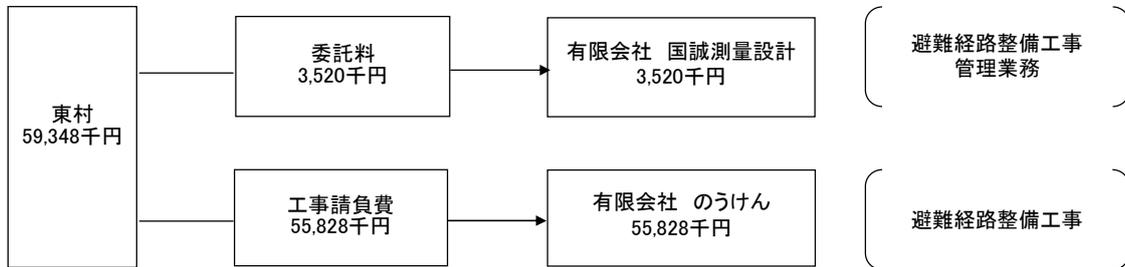
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		整備工事の実施	目標 () () () () 実績 実施設計の実施 整備工事の実施			
達成状況説明	避難経路の整備工事を実施し、目標どおり達成した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R7年度)
		整備工事の完了	() () () () ()	実施設計の完了	整備工事の完了	() () ()
		実績	実施設計の完了	整備工事の完了		
	【参考指標】令和7年度成果目標 防災避難訓練 1回/年	目標 () () () () (1回/年) 実績				
進捗状況説明	整備工事の完了を目標としており、目標どおり達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	避難経路整備完了に伴い、防災マップ等の見直し及び地域住民への周知が必要である。	避難経路整備完了に伴い、防災マップの見直し及び地域住民への周知方法を検討する。
今後の取り組み方針		
避難経路整備完了に伴い、防災マップの見直し及び避難訓練を1回/年、実施する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
59,348	59,348	47,478	11,870	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事及び委託事業者は指名競争入札で選定しており妥当であったと考えている。 ○執行率100%であり予算規模は適正であったと考えている。 ○費目、使途については完了検査を実施しており、目的に即し必要なものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	